

平成26年度 学校評価実施報告書

(別添様式)

3 2回目評価

重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定					・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理	自己評価	学校関係者評価			
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	評価日	平成27年1月5日	評価日	平成27年2月13日		
1	確かな学力	授業改善	研究授業を年間7回を予定しており、11月からは模擬授業も行っての実施。	わかりやすく工夫された授業で、学習の達成度がわかる。基礎基本を徹底し、学力の向上を図っている。	2、3年生では、7月時と比較すると、アンケート結果は、2~7%ほど教科のポイントが伸びている。1年生は下がっている。	評価者・組織	学校評価委員会	評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員	
		コミュニケーション能力の育成	各教科で、グループ活動を取り入れて、他者との考え方の擦り合わせ言語活動の充実を図っている。	生徒の聴く・考える・話す様子の変容。学習確認プログラム等の結果。	特に3年生では、授業での指導法の影響から5教科の表現についてのばいんとが2.5~10%ほど高い。1年生も数%高	分析 (成果と課題)	自己評価に対する改善策	学校関係者評価による意見	学校評議員による改善に向けた支援等	
2	豊かな心	豊かな心の育成	道徳年間授業計画に従った授業の実施及び人権学活の実施。ボランティア活動や体験活動の実施。	いじめを許さない集団づくり。生徒とのふれあいや対話を大切にした取組が行われている。	学年が上るにつれて、人を大切にする思いが高い。3年96%、2年93%、1年88%。	⇒	・授業の中で、人の話を聞き、そのことについて自分の考えを述べる等を継続して行うことで、子ども自身の中に学習内容が言葉として定着し、自身の言葉でそのことを表現できる能力が身についてきている。学習確認プログラム等の結果から「話す」「書く」力がついていると思える。 1、2年生では教科により、その成果が違うので、全てにおいて継続する必	1、2年生においては、授業での学習課題の設定や他者の話を聞いてそのことについて自分の意見を話すことなど、授業のあり方を再確認する必要がある。また、課題はハーダルの高いものに設定することも考えることで、「思考・表現」が伸びることが期待される。	⇒	・やはり学年が進むにつれて、授業改善の成果が出ていているようである。また、3年生が「聞く・聞く・書く」だけでなく、各教科での「思考・表現」についても上級学年のはうが優れている。
						⇒	・後期も地域でのボランティア活動に参加する生徒も多く、取り組みの成果が見られている。 ・授業の中で、グループ活動を取り入れていることで、クラスの仲間意識が、上級学年ほど高い。 ・次年度は道徳指導の中でも人権の素地づくりを更に進めていく必要がある。	道徳の授業と「命」「もの」を大切にすることを内容と関連付けて実施し、「心を育てる」教育を行なう。	⇒	・後期も地域でのボランティア活動の際には、多くの子どもたちが参加・協力をしてくれて助かっている。 ・グループ活動を取り入れた授業の成果として、全体的に仲間意識が徐々に高くなっているようである。 ・後期は学校だよりも地域に配布してもらい、以
3	健やかな体	基本的生活習慣	規則正しい生活が出来ている。 ・時間を大切にしている。	規則正しい生活ができる。時間を作っている。	7月に比べ、1・2年は2%上ったが、3年は進路の事もあり2%下がった。	⇒	・依然として、ケイタイやインターネット等で生活習慣が乱れてきている傾向にある。 ・2年は部活動の中心として、3年は体育の時間で体をしっかりと動かしていた。	・教科指導のみならず、学活や道徳においてもモラル及びケイタイ等の使用に伴う生活のあり方について実施する。 ・下級生ほど寒い時期にどのようにして体力づくりをするのか指導を行なう。	⇒	・特に中学生で、ケイタイを持っている生徒の割合と日常生活の送り方について気になる。
		体力の向上	運動・体力を活用し、生涯スポーツ・体力の向上の活動の推進。	球技大会・体育大会等の行事に積極的に参加している。	行事に積極的に参加しているが、2、3年が4~5%高くなつた。	⇒	・保護者が学校に来れる機会が前期に比べ減った事が要因である。	・次年度は、月1回程度は保護者に学校へ来てもらえるよう計画する。	⇒	・地域でも子どものケイタイの所持と使用について、回覧をわざしたり、子どもと交流する取り組みの中で協力していきたい。
4	独自の取組	開かれた学校づくり(適切な行動・情報発信の充実)	・家庭・地域と連携に取り組んでいるか。 ・開かれた学校づくりに取り組んでいるか。	・学校や生徒の様子がよくわかる。 ・学校ホームページのアクセス数。	アンケート結果が前期より4%低くなつており、特に授業参観が前期に比べ少なかつた。	⇒	・保護者が学校に来れる機会が前期に比べ減った事が要因である。	・次年度は、月1回程度は保護者に学校へ来てもらえるよう計画する。	⇒	・学校だよりを地域に回覧していただき、中学校の様子がわかるようになってきた。また、子どもの頑張っている状況を診てもらうため、地域行事に協力を少し願いたい。

4 総括・次年度の課題

- ・本校で取り組んでいる授業改善における「コの字・4人グループを取り入れた学び合いによる学習形態」について、保護者及び地域の方々にはその効果について一定の理解を得ている。その説明をより確かなものにするために更に分析・検証を深める必要がある。
- ・年間を通じて、保護者や地域の方にも学校行事に出席していただけるように月1回程度行事を計画していく。
- ・今年も自転車の乗り方について学校への連絡があつたので、自転車通学している生徒もいる関係上、特に自転車の乗り方や交通安全について指導を徹底する。